

広聴特別委員会記録

平成30年12月4日

【開催日】 平成30年12月4日

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午後1時～午後2時

【出席委員】

委員長	長谷川 知司	副委員長	宮本 政志
委員	伊場 勇	委員	奥 良秀
委員	杉本 保喜	委員	高松 秀樹
委員	中岡 英二	委員	中村 博行
委員	藤岡 修美	委員	松尾 数則
委員	吉永 美子		

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議長	小野 泰	副議長	矢田 松夫
----	------	-----	-------

【執行部出席者】

なし

【事務局出席者】

事務局長	中村 聡	主査兼庶務調査係長	島津 克則
------	------	-----------	-------

【付議事項】

- 1 市議会モニターの意見について
- 2 議会報告会について
- 3 その他

午後1時 開会

長谷川知司委員長 広聴特別委員会を開催します。本日の付議事項はお手元にあるとおりです。最初に市議会モニターの意見について意見をお聞きします。皆様方のお手元には議会が始まる前までの議会モニターからの意見をお配りしています。これについて一つずつ担当を決めていければと思います。最初に9月19日付けの9月議会一般質問を傍聴するという

のがありますが、皆さん初めて目にしたんですかね。これについては全て議会運営委員会で対応していただいたと思うんですが、よろしいですか。

吉永美子委員 9月の一般質問のときに、すり合わせとかしますよね。この点について、私は市長から答弁をいただきたいと述べたんです。でも、結局それを失念されていまして、市長じゃない方が答弁されていまして、何でだろうなと思っていました。そういった行き違いがあるんだなということも経験させていただいて、私はそのときの言い方としては「市長に答弁を求めます」と本会議場でも言っています。その前にも言っていました。後で聞いたら「それは私が失念していたんでしょう」と職員に言われたんですが、できるできないじゃなくて、私が紹介したいのは、一般質問は当然市長に対して答弁を求めているのが基本です。内容によっては部長からいただいてもいいかなと思うものもあるかとは思いますが。山陽町議会のときには答弁を求める者というコーナーが一番右にあり、そこに書くようになっていました。ですから私は町長と書いたり、場合によっては町長ではない方も書いていたと思いますが、そういったやり方というのはできないかどうかということだけ提言させていただきたいと思います。そういう一般質問通告書は不可能なのかどうか。山陽町はそうなっていましたので、答弁を求める者と書いてあったと思いますが、そこに町長なら町長と書くようになっていました。よかったらその辺についても議論していただけたらと思います。例えばそうやって書いていたけれども、仮にそういう形になったとして、市長と書いておられますが、こういう理由で部長から答弁させますので御了解くださいとか、そのやり取りのときにできますよね。そういうことも多少、モニターさんが出されているのを見ていても、そういうのはきちんと議員とのやり取りがまたできていくのかなと思ったんですけど、一応御提言だけさせていただけたらと思ひまして発言しました。

長谷川知司委員長 議会運営委員会にこれを付託すると同時に、今言われたことを一緒に議運で協議していただきたいということなんですが、これは今ここでそれを採択できる、あるいは個人的に議運に言うとか、会派で言うとか、そういうことではなくて、ここから議運のほうに言ってもらいたいということですね。

吉永美子委員 もし皆さんが良ければです。

長谷川知司委員長 吉永委員が言われましたように本来は市長が答えるべき問題ではあるんですが、参与がそれぞれ答えられている場合が多いです。そういうことについて誰に答えてほしい。原則は市長ですけど、特に市長とかいうのを記入する欄も検討してもらいたいということですね、議運で。

松尾数則委員 確認をしたいんですが、私は前職の白井市長しか知らないんですよ。その前の市長も含めてどうだったんでしょうか。全て部長が答えていたんだろうか。

吉永美子委員 私が聞いているところによると、前の市長は行政マンでしたけど、市長が先に答えるというやり方をしていない小野田の市議会の歴史があるようです。

小野泰議長 私の記憶では、通常の場合は部長が答えられますが、議員が求めるのは最終的にこれをどうするのかということで、最後は市長かなという気がします。議員の質問の仕方もあるんじゃないかと思います。ですけど、全体的には部長が答えられて、ここ一番のところを市長が答えるという形かなと思いますので、そういうことも考えながらお願いしたいと思います。

吉永美子委員 山陽町議会のときは、まず町長が答弁されて、それから参与が補足をするという、私はその流れの中にいたものですから、合併したときに「えっ」とびっくりしたのがありまして、よくよく聞くと、前の市長は行政マンではなかったですから、そういうやり方をしたのかなと思っていましたが、よくよく聞くと行政マンだったその前の市長のときからやっているということで、そういう点では、やはりそれでいいのかなという気持ちはしています。まず大きなことを市長が答えられて、後のいろんなことを参与が答えるという流れが、私は山陽町議会にいたものですから、それが当然だろうと思っていたので、ちょっと違和感を現実には今も感じています。

長谷川知司委員長 私もよその市や県などを傍聴したことがありますが、吉永さんが言われたように、最初に首長が言われて、後を参与が補足という人が多いですね。今回これについては私たちのだけの意見ではいけないので、一応議運のほうで検討していただくということでもよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）そういうことで。最初は議会運営員会

ということでいきます。次の同じく9月19日付けのモニターとしての意見ということで1、2、3とありますが、これも議会運営委員会ではないかと思いますが、そういう形で、議会運営委員会ということでよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）次のページのモニターからの意見1です。1、2とも広聴かなと思いますが、1、2につきましては広聴ということで、3、4については議会運営委員会ということで担当させていただきたいんですが。最終ページについて11月27日付けですが、(1)については広報かなと思います。(2)、(3)、(4)については議会運営委員会、②については広聴ということでいきたいんですが、皆さん今読まれた方もいらっしゃると思いますので、これについては読んでいただいて、最後に異論があればお聞きするというので、一応中間報告としておきます。5分休憩します。

午後1時12分 休憩

午後1時17分 再開

長谷川知司委員長 再開します。市議会モニターの意見について再度確認します。対応としては議会運営委員会が主ですが、議会運営委員会ではないものだけピックアップします。4ページの11月26日付けモニターからの意見1は広聴、モニターからの意見2も広聴、最終ページの11月27日付け①(1)は広報、②が広聴、それ以外は議会運営委員会で対応していただくということでいきたいと思います。1は終わりました議会報告会にいきます。お手元の資料にありますように、議会報告会開催状況の過去の例を書いています。過去、公会堂とかを利用した件もあるし、昼間利用した件もあります。昼と夜のダブルヘッダーでやりまして、3日間で終わったという例もあります。特に冬場については暗くて寒いから昼間という感じでやったところもございます。12月議会の報告会をいつもどおりやるのであれば1月の終わりか、2月上旬になると思います。そうすると寒いときです。議会カフェそのものが4月から始めたことです。3回やっていますが1年間はやっていかないと、私はこれを変えるというのはまずいかなと思っています。いろんな意見はあると思いますが、最低1年間はこのペースを守っていければと思っていますが、それについて皆さん意見があれば。12月議会の報告会も例年どおり行うということでよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あ

り)次に開催場所、開催時間について希望があればお聞きするんですが、公民館などのほうが集まりやすいということもありますし、この表を見ますと過去、公会堂でやったときは結構集まっていますね。皆さんの意見があればと思います。

伊場勇委員 公会堂でやられたときはどういう市民に対して周知をされたんですか。工夫などをされたんでしょうか。

長谷川知司委員長 いつもどおりの広報であり、特に地域においては地域の議員さんが声掛けをされたと聞いております。山野井の公会堂についてはちょうどデマンド交通ということで、地域の方が興味のあるテーマがあったということで来られました。

小野泰議長 デマンド交通をやったと思いますが、老人クラブなど交通弱者といえますか、そういうところに呼び掛けた経緯があります。

長谷川知司委員長 テーマによっては興味ある方々に呼び掛けたということです。それは大事なことだと思いますね。寒い時期ですから昼間も行うということでどうでしょうか。(「異議なし」と呼ぶ者あり)昼間3回、夜3回ということで考えたいと思います。場所については公民館や公共の施設以外、こういうところがいいのではないかとということがありましたらお聞きします。

中村博行委員 公民館であれば従来どおりになると思うんですけど、公会堂は数的には若干多いかなという程度だと思うんですよ。確かに数字はほかと比較すると多いんですが、従来から言われていますとおり、そこに関わっている自治会が中心になってというデメリットもあるということで、私は基本的には公民館で、多い少ないは努力も必要だと思うんですが、これを粛々とやっていくということじゃないかと思うんですよ。それか、議会報告会そのものを抜本的に考え直してやるかということで、一つの例として、先日会派で視察に行った東京の町田市ですが、議会改革度ランキング10位ということで、ここは議会報告会を一切やっていないですよ。出ていくのではなくて、入れるという考え方ですね。そういったことも含めて全員協議会で報告があると思いますが、場所については、私はこれまでどおり公民館を利用して全校区に知らせていくということが基本じゃないかと考えます。

長谷川知司委員長 ほかに意見はありますか。なければ今年やっているように公民館を利用するというので、場所については前回と違う小学校区を利用するというので検討して、事務局で当たってもらっていいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）班編成ですが、今まで二つに分けました。最初は二つで良かったかなと思ったんですが、ちょっと人数が減ってきておりますし、議会報告会の運営にも慣れられたと思いますので、今回班を三つにしたいと思いますが、皆さんどうでしょうか。前回議員の数が多すぎたという意見もあった。来る人が多いと想定しているんですが、これについて意見があれば。

中村博行委員 報告会の現場でも話をしましたが、前の3班に戻してはどうですか。2班であれば議員負担が3回、3班であれば2回。この1日が議員にとっては負担じゃないかという話が、話し合った中でありました。昨日もある会合で議会報告会の議員の数が多すぎると指摘もされているので、9月議会の報告会自体がそれだけの人数が見込めなかったということもありましたので、再度3班制に戻したほうがいいのではないかと考えます。

吉永美子委員 戻すという考え方もあるんですけど、今2班でやってきて慣れてきたことが1点、市民の方が少ないではなく、増やそうと考えていかななくてはいけないと思っていますので、いかに次回よりも増やすかということ私たちは頑張るべきではないでしょうか。やはり2班でいくべきだと思います。

長谷川知司委員長 普通であれば1年間やっていこうと思っていたんです。ただ、市民の方から議員が多いと言われたので、ここで皆さんに諮っているんです。

高松秀樹委員 議員が多いというのは相対的な話だと思うんです。市民が40人も50人も来ていたら、恐らく議員が少ないじゃないかという話になると思うので、僕は吉永議員の言われるように、まずどうやって増やしていくのかというところから始めるべきだと思います。その結果、僕は2班でも3班でもどっちでもいいのかなと思いますけど、きちんとした役割を持ってやるというのも一つかなと思います。それはこの中で議論をしていけばいいと思います。

長谷川知司委員長 基本は私も1年間はやって、それから変更していこうとい

うのが基本だと思います。だから2班でというのがあったんですが、先ほども私が言ったのは、市民の方からの声があったということなんですが、それについてはどうするかというのを工夫することで、現状でいくということもいかなと思いますし、私も何とも言えんですね。

高松秀樹委員 それには一つの会場で市民の皆さんに何人ぐらい来てもらうという計画が必要じゃないかと思うんですよ。それによって、今は島に分かれているわけでしょう。一つの島に15人というのは現実的ではないから、大体このぐらいの島で、市民の方が一つのテーブルに6人座られるんだったら、そこに付く議員は何人必要ですというふうな計算をして、それでグループ分けになっていくのかなと思います。議会報告会1会場最低このぐらいの市民に来てもらいたいという目標があってしかるべきだと思います。

長谷川知司委員長 一つの会場で人数設定をこのぐらいにしてというのがありました。その人数設定をすることについて皆さんの意見はどうでしょう。アンケートの結果を見ますと、ほとんどの方が3回以上来られているんです。来られる方は限られた方が多いです。議員がもっと新たな人を連れてくるべきだという意見も聞いています。

中村博行委員 複数回来られている市民の皆さんは発言慣れをされている方がほとんどです。初めて来た人は「ああいう状況では引きますね」という声のほうで圧倒的に多いと私は感じています。確かに多く設定する。そのために努力するというのは重要だと思いますが、現実はなかなかそうはいっていないということも含めて考えるべきではないかという気がします。

松尾数則委員 以前、PR部会で人数の話もあったと思うんです。あのときは15から20という形で提案したと思うんですが、それはそれなりにそのときの理由、意見を交換しての話だと思うんです。だから、その辺が目安かなという気はしています。

長谷川知司委員長 今年度はPRにしても、様々な方に苦勞していただいて、PRの仕方も工夫してきています。しかし、いかんせん参加者が増えていないというのが実情です。もっとPRをやり替えて、動員みたいな形にするということもあるんですが、そこまでする必要はあるのかということも考えて、どうしましょうかね。PR部会で考えますかね。

高松秀樹委員 「そこまでする必要はあるのか」というのに非常に違和感がありますよね。そこまでする必要があるので、議会報告会をする以上は。そうでなければ議会報告会をやめたらいいんですよ。だって、ずっと減ってきているでしょう。幾らPRに力を入れてもこれ以上伸びないですよ。ということは以前あった「議員一人が何人ぐらい連れてきてください」と、松尾委員が言われた1会場20人という話であれば、6会場120人ですよ。120人を議員数で割れば一人5人から6人ですよ。2会場に分ければ二、三人ずつ連れてくれば、この数にはなるんですよ。僕はここが出発点かなと思うんですよ。ここに来てもらって、「いろんなことが分かった」とか「議員もこういうことをしているんだ」「こういう行政をやっているんだ」と、その出発点がいていないので、僕はまずそこを増やすべきだと思います。率直に言えば最初は動員を掛けてでも来ていただくという形にすべきだと思います。

吉永美子委員 私は毎回来てくださいねと声を掛けているんですけど、前回初めて来られた方が、「もっとたくさんの人に来てほしいね」と言ってくれたんですよ。だから、議員もある程度声を掛けて、3回以上じゃなくて、初めて来た人がもっともっと増えるように、議員の声掛けも大事なのかなと思います。何人以上とするところまでやるのかどうかは別としても、もっともっと努力をしていかないといけないのかなと感じています。議員の努力ですね。

高松秀樹委員 会場で吉永委員が恐らくお呼びした市民の方のお話を聞いたときに「非常に良かった」と、その方は初めて見た方で、その方が非常に良かったですよという話がありました。だから僕は吉永委員とか中岡委員も地元では連れて来られていると思いますし、ほかの委員さんも連れて来られていると思うんですけど、そういった形でやっていくのが一番いいのかなと思います。過去の反省をしてみると、以前この議会報告会をやるときに、一人2名ずつだという話になって、機関決定して、2名ずつという話になったんですけど、蓋を開けると数がそろっていないんですよ。そろっていないんですけど、委員に聞くと「連れてきましたよ」というのがあって、今後やるのであれば、そこはしっかりやっていかない限り、なかなか数がそろわないというふうに思いますので、僕はその手法を考えたほうがいいんじゃないかなという気はします。

長谷川知司委員長 私の意見ですけど、委員長という立場ではなく、1委員と

いう形での経験で言いますと、最初は声掛けをしていました。来ていただきましたけど、それが年4回の4年あれば50名以上の方に声掛けをしていたんですけど、「いいだろう」という人が多くて、なかなかよそに行かないということがあったんです。それと同時に地元の議員が地元で出ないから、私がよそのところに連れていくという形になる場合が多いんですね。現在は議員の地域性を考えていないから。それは一つのやり方で、私はそれを否定するわけではありません。ただ、自分の声を掛けた人が地元に出ないのに来てくれということが、私は心苦しいところがありました。経験として言うておきます。だから、システムそのものをもうちょっと見直すことが要るのかなということも考えています。

高松秀樹委員 前のときに一人3人連れてきましょうという話だったんですよ。ある委員が「3人はきついですよ」と言われたんですよ、そのとき僕が言ったのは「あなた何票取ったんですか」と、やはり私たちにはいろんなところにそういう方がいらっしゃるんで、いろんな人に声掛けをして、これは政治活動ではなくて議会活動なので、やはり議員としてこういう活動をしているということを皆さんにお知らせすることが重要ではないですかという話をしたんですけど、僕も同じような感じなんですよ。同じ人に言うと皆きついんですよ。でも、もう一つそれから一歩外に出て、こういう人たちにも今の山陽小野田市議会を知ってもらおうということで話をすれば、恐らく来てもらえる方もたくさんいらっしゃると思うので、そういう形でこの議会報告会を進めていったほうがいいと思います。

伊場勇委員 議会報告会に2名と3名というのは、報告会として基本的に成立しないレベルだと思って危機感を持たなければいけないなというふうに思います。一人3人とか、4人とか、5人とかありますけど、まずそれを成立させるのは議会側の責任があるのではないかと思う観点からすれば、一人3人以上は声を掛けて、それを成立させた後に、今度はその次のステップとして議会が呼ばなくても来るようなシステムとか、そういうところを考えるのではないかなと思います。今年3月の議会報告会ときには新人が多くて、初めての報告会だったので、私も声を掛けましたし、いろんな人が声を掛けて、それなりに盛り上がった報告会だったように思います。半年たちまして、2回ありましたけれど、正直私は何も声を掛けなかったです。地元でやった津布田に関しては、正直動きました。自分の地元が議会報告会で人数が少なかったら、僕は恥ずかしいと思ったので、自分で動いて十数名呼びました。呼ばなかったらどうな

るのかなと思ったら、案の定すごく少ない数字で終わってしまったというところは、議会は市民に対してへりくだって報告会でやっていますというふうに思うんですが、ただ、市民の人はそれほど感じていないというところだと思うんです。なので、どうせしっかりやるのであれば、一人何人というのを呼んで、目標を立てて、それから次の新しい議論ができるのではないのかなと思いますので、まずは一人何人か、そこは多い少ない人それぞれ考えがあると思うので、難しいところですけど、それを徹底すれば、取りあえず今の段階の報告会が成立するんじゃないのかなと思います。

奥良秀委員 私も議会報告会をやるたびにいろいろお願いはさせてもらっているんですが、私がお願いするのが大体20代、30代、40代の方が多いんですが、実際来られません。なぜ来ないか聞くんですよ。そうすると「君が市会議員だから、会ったときに話を聞けば、私は大丈夫。そのために私はあなたの後援会に入って応援しているんだから」ということを聞いています。今後、報告会があるたびに、同じように声掛けはします。でも、例えば、私の後援会に入っているから絶対に来てくださいよというお願いはできないと思いますので、軽くお願いで来てくださいよと。余談ですが、私の場合は小野田小学校校区ですが、報告会には入っていません。だから来ないということもないとは思いますが、そういうこともありますので、いろんな要素の中で、ノルマ的なものを掛けられるにしても、それに責任が生じるのか生じないのか。やることはやっても来られなければ、それ以上議員がどう努力をしていけばいいのか、逆に私のほうが教えてもらいたいなというところがあります。

長谷川知司委員長 視察を受け入れたときに本音で話したとき、よそもやはり尻すぼみだというのは言われていました。よそもどうしたらいいのかというのを探しているという状態です。

高松秀樹委員 夜の7時から公民館に来てくださいというときに、来られる方もいらっしゃるが、なかなか来ちゃいないですよ。それが現実なんです。その現実を打破しましょうということでこうやって議論をして、なぜかという市議会の皆さんというのは結局市民の皆さんが選んでいるんですよ。選んでいるから、そこをきちんとやりましょうというスタンスなので、そこを僕たちももう一度よく考えながら、やはり多くの方が来られたほうが良いと思います。来られたときに満足して、又はやや満足で帰られる人が増えるように僕たちも努力していくということだと思います。

ます。もちろん皆さんが「こういうのは必要ないよね」という話であれば、話は根本から変わってきますけど、今は議会基本条例に沿って動いているはずですので、そうはないという観点から話すと、参加人数は増やしていくべきだと、それをどうしてやったらいいのかと、順次話を進めていけばいいと思います。

中岡英二委員 先ほど尻すぼみになっていると言われましたが、29年度の数字は出ていますが、30年度の数は。

長谷川知司委員長 まだ、まとめていないです。

中岡英二委員 私の感覚としては議会報告会が議会カフェとなって、大変敷居も低くなって来やすくなったという声は聞きます。議員として私は地元の人に議会はこういうことをやっている、もちろん自分から後援会の人たちに声を掛けるのも、多少抵抗はあります、いや実際は、本当は自分がそういうミニ集会とかを開いて、地域の人に紹介するのもいいんですけど、やはり議会として、このたびこういう案件で話をしたということ、私は声掛けをして、来る、来ないは別として、一人でも多くの人に議会がこういうことをやっているということを知っていただきたいという思いがあって声は掛けています。しかし、私が声を掛けた中でも何人かは来られていないです、実際。特に若い人は来ていないですね。今からはもう少しやり方というか、場所とか時間とか、その辺をもう一回精査しながら、せっかく議会カフェで来やすくなったという声を聞きますから、もうしばらく続けて、一人でも多くの人に来ていただきたいというのはあります。だから結論として、今までどおり2班に分かれて来る人を増やす方向でやってみたらどうかなと思います。

長谷川知司委員長 参加人数を増やすというのは皆さん同じ気持ちではありませんが、どのようにするかというのは様々な手法を思い付かれているかもしれないし、どうしたらいいのかというのもあります。一つありましたのは自治会長が来られたときに、持って来れば回覧すると言われた自治会長さんもおつてです。個人的な自治会長の判断ですからね。もし、そういう方であれば、自治会の班回覧をしていただくというのも一つの方法かとは思いますが、ただ、これは強制とかはするべきではないと思います。向こうがやっていただければ有り難いということです。結論は出ませんので、取りあえず1年間同じ方法でやるということで、2班でやるということでもいいでしょうか。

中村博行委員 私は議員が多いという声も聞くんですけど、従来市民懇談会も3名で議会が出ていたですよ。各常任委員会一人ずつが。その自治会でいろんな要望があるから、常任委員会三ついけば対応できるということ。そのぐらいで対応できるはずなんです。他市の議会報告会でも少ない人数で対応されているところも結構ありますよね。年1回で、大々的にやられて、全議員が参加するという議会報告会もあります。うちのように1回6会場ということであれば、少ない人数で十分対応できるんじゃないかと思います。ましてや新人議員さんも1年たちましたので、状況も分かっただろうし、そのために各常任委員会で準備等した中でスキルアップが十分にされていると感じますので、少ない人数で対応することにも慣れるべきだと思います。私も年3回個人的な議会報告会を3か所でやっていたんですが、これだけ回数があり、前準備から、後の反省まで入ってきますと、なかなか今の山陽小野田市議会は非常に忙しい市議会だということから、なかなかそれが満足にやれていないということもありますので、私としてはできれば3班制でやってほしいというのがあったわけです。

高松秀樹委員 2班にするのか3班にするのか今日決める必要がなければ、先に延ばされてもいいんじゃないですか。そのほかのことが決まっていないうちで、これだけ決める必要はないと思っていますけど。スケジュール的に事情があるならあれですけど、なければ先でもいいんじゃないですか。

長谷川知司委員長 事務局どうですか。（「定例会中に決まれば」と呼ぶ者あり）定例会中に開いて決めないと最終日にチラシを配布しますから、そのときにはきちんと決まった形でやらないといけませんから、会場は今日決まりました。時間も昼と夜3回ずつということで決まりましたので、班が決まれば割り振りできるんですが、それが決まらなければもう1回開いて、会期の途中でもう1回開くこととなりますけど、そういうことでよろしいですか。宿題ということで、班編成についてはもう1回よく考えていただく。どのようにしたら人が集まるか。そういったことも大事なことだと思います。

伊場勇委員 報告内容については今週委員会があるので、そこで協議した内容とかで決めて、次の広聴に報告するというスケジュールでいいんですか。

長谷川知司委員長 はい。テーマとか報告内容については委員会に任せていますので、その委員会の中で決めていただいて、あくまでも委員会が責任を持って、それを作られるということで考えています。

奥良秀委員 先ほども触れたんですが、報告会の会場で、小野田小学校校区がないということを伝えたんですが、その件についてはどうされるんでしょうか。今までは須恵公民館と商工センターで、これは須恵校区で、小野田小学校校区はありません。

長谷川知司委員長 各校区にあるのが一番いいと思います。小野田小学校校区でできるのは中央図書館ですが、夜はできません。(発言する者あり)

奥良秀委員 中央福祉センターは須恵校区に近いので、難しいかなと思います。

長谷川知司委員長 図書館は夜はやっていないですが昼に今回やると言っていますので、中央図書館に当たるのもいいのかもしれない。あとは市民体育館の会議室ですかね。(発言する者あり) これも宿題ということで。一つありましたのが中央図書館の視聴覚室ですね。その他について何かありますか。事務局何かありますか。

島津議会事務局主査 先ほど昼3夜3ということでしたが、これは同一日で例えば2時からと7時からというようなサイクルで予約してもよろしいでしょうか。

長谷川知司委員長 同じ日でも問題ないですね。(発言する者あり) 昼と夜でまがい場合がありますか。3班ならやりやすいけど。

島津議会事務局主査 方針を決めていただいたら予約します。会場によって空いている、空いていないがあるので、小野田校区を仮に図書館とするならば候補の3日間で昼夜の部で空いているのはどこかということを知っていて、仮に予約しておかないと会場が決まらないかなとは思っています。

高松秀樹委員 昼と夜は場所が違うんですね。(「はい」と呼ぶ者あり) この表で見ると、29年4月の分みたいな形にしたらどうなんですかという話なんですね。

長谷川知司委員長 昼は寒いといけないということがあったので、2時からが

いいと思います。会場は小野田小学校校区を優先的に確保して、あとは前回と違う小学校校区でやるということにして、大体の日にちもこれぐらいということで事務局に当たっていただいて、それを次回に最終的に報告したいと思いますが、いいですか。班編成はそのときに決定します。

高松秀樹委員 過去に2時からやっていますが、どうだったんですか。

中村博行委員 埴生でやったときに、そのときは結構十名以上集まった記憶があります。そのときは正解だったねという結果があります。

長谷川知司委員長 全てダブルヘッダーとはいかないかもしれませんが、基本的には短い期間の中で、議員も3日間で済むような形で動きたいと思います。それでよろしいでしょうか。（「はい」と呼ぶ者あり）事務局ほかにありますか。

島津議会事務局主査 ありません。

吉永美子委員 土曜日をどうするかは決めていないですよ。

長谷川知司委員長 前回か前々回やって少なかったからウィークデーにしようということにしたと思います。

吉永美子委員 土曜日は除くということですね。それで決定ということですね。

長谷川知司委員長 ウィークデーでいきたいと思います。

藤岡修美委員 また根本に触れるかも分かんないんですけど、1年間こういうやり方でやり終えますよね。高松委員が言われるように議員が声を掛けて、それでも人が集まらなかった。今この6会場、議会ごとに会場を変えてというやり方を根本的に、先ほど中村委員が言われたように年1回にやるとか、回数減らすとか、そうしてテーマを重くしたらこっちから声を掛けなくても、さっきのデマンド交通ではないんですけど、テーマによっては来てくれる。確かに声を掛けて、僕たち新人議員にとっては報告会自体が勉強になることもあるんですけど、自己完結してしまう。議員の自己満足で終わってしまっても情けないかな。1年やって、次は根本的にそれを考えることも必要かなと思うんですけど。

長谷川知司委員長 現在のことを踏襲するということも含めて、根本的に見直すことは大事だと思います。前回視察に行ったときに、高校に行って報告会をしているところもあるんですね。それは相手方の高校の都合がありますから、そのとき言われたのが、高校に行くなら11月ぐらいが一番いいですよと言われました。そういうこともありましたので、根本的にどうするかは12月議会が終わって打合せをしないといけないと思います。

高松秀樹委員 今の意見なんですけど、そもそもなんで議会報告会をやるのかというところだと思います。その共通認識が議員にないと恐らく無理なんです。議会報告会というのは説明責任を果たすための一つのツールなんです。必ずしもこれに固執することはないんです。説明責任を果たす別のツールがあればそっちに移行しても差し支えないんです。だから、がんじがらめでこれをやろうというのではなくて、僕たちも努力していきましょうと。努力して集まらなかったらどうするんですか。そこはそこで立ち止まって考えるということだと思うんですけど、やはり参加する皆さんが何でこんなことをやりよるんだろうということをしっかり理解されていないと、今後も人数もそろわないし、結局何やっているのという話にもなりかねないと思いますので、藤岡委員がいい問題提起をされたかなという気がしています。

吉永美子委員 せっかくなので議会基本条例に議会報告会のこともうたっているから、その点はもう一度見直して、場合によっては議会基本条例の修正も入り込むところまでありますので、もう一度皆で勉強し直すということも大事ですよ。

長谷川知司委員長 今言われたことは皆さん大事だと思います。常にこれで満足ということではなくて、より良い方法、より良い手法を私たちは考えていくべきだと思います。以上で広聴委員会を終わります。

午後2時 散会

平成30年12月4日

広聴特別委員会委員長 長谷川知司